

弘前市立博物館 ニュースレター

No.9

令和6年2月号

Hirozaki City Museum Newsletter

■いよいよ冬も終わりに近づいてまいりました

春寒の候、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。異例の少雪・季節外れの暖冬となり、弘前もすでに春本番を迎えたかのような2月となりました。

さて、博物館では昨年12月から開催しておりました令和5年度企画展3「博物館に初詣！」の会期を無事に終えました。おかげさまでご好評をいただき、冬期としては比較的多くのお客様を迎えることができました。誠にありがとうございます。

今回の企画展は令和5年度企画展4「雛と兜」です。3月3日のひな祭りと5月5日の子どもの日に合わせ、ひな人形や五月人形、甲冑などの展示を行う予定です。現在、3月1日からのオープンに向けて、館の職員全体で準備をしているところです。ぜひご期待ください。（館長 熊谷）

■歴史講座を開催しました

1月27日(土)、2月3日(土)に第1回目と第2回目の令和5年度歴史講座を実施しました。

歴史講座①「青森初の博覧会-考古学からみた弘前博覧会」上條信彦先生(弘前大学)

明治時代の、全国でも早い時期に

2度も弘前で博覧会が行われていたことに驚きです。主催した東奥義塾は本当に先進的な学校だったんですね。聴講されたみなさんも興味津々でお話に聞き入っていました。

講座終了後、出品された品々の一部は当館に所蔵されていることも判明。今後、上條先生と共同研究ができればという話で盛り上がりました。

歴史講座②「弘前藩領における木綿の移入および流通-民衆の衣生活を考える」石山晃子先生(青森大学)

江戸時代には農民には麻しか着てはいけないとされていましたが、実は18世紀末に農民にも木綿の使用が認められると、農村部でも木綿が日常的に売買されるようになっていったそうです。



▲歴史講座②のようす

石山先生は、当時の津軽の民衆たちも、さまざまな制約は受けていた

ものの、現在の私たち同様、より快適で豊かな暮らしを求めたのではないかとおっしゃっていました。

歴史講座③「津軽家文書を追って」古川祐貴先生(弘前大学)申込受付中！

この後、3月9日(土)にも第3回の開催を予定しています。お申し込みはお電話で博物館(☎0172-35-0700)まで。

(主査兼学芸員 小田桐)

■予告:企画展4「雛と兜」

今回の企画展は3月1日(金)から開催する企画展4「雛と兜」です。今回は会期前の予告として、企画展ポスターを掲載します。お楽しみに！



▲企画展ポスター画像

(「雛と兜」担当学芸員 三國)

■企画展3「博物館に初詣！」ありがとうございました。

2月12日(月・振休)をもって、令和5年度企画展3「博物館に初詣！」を終了しました。会期中にご観覧いただいた皆様、また企画展開催のためにご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。おかげさまで大きな問題もなく開催し、好評のうちに終了することができました。また私事ながら、担当者は当館に配属となってから初回の企画展でしたので、お客様に楽しんでいただけるか戦々恐々としながら準備から会期中を過ごし、無事に会期が終了してホッとしています。

会期中は企画展会場内で幼稚園や小学校の子どもたちが資料を興味津々に眺める姿や、ご家族ご友人でいらした方々が楽しんでいる姿がみられました。本企画展は老若男女問わず縁起の良い資料を楽しんでいただき、年末年始期間をさらに楽しんでいただきたいという意図で構成したものでした。いろいろな方々がお楽しみいただいている姿は、まさに狙い通りであり、担当者としても大変うれしい限りでした。

現在、次回以降の担当する企画展の準備も既に開始しております。今後も博物館にお越しいただく皆様楽しんでいただける企画展を実施できるよう、努力してまいります。(「博物館に初詣！」担当学芸員 工藤)

■資料紹介:「博物館に初詣！」③ 伝陳容「龍図」

前号までに企画展3「博物館に初

詣！」で展示した資料の紹介を2回にわたって行い、「えと」と「こよみ」の資料として「干支凧」「引札」を紹介しました。しかし、ポスターにも登場したのに未紹介のままの資料が残っていましたので、紹介します。



▲伝陳容「龍図」宋代中国

今回ご紹介する資料は「龍図」です。企画展では今年の干支・甲辰に合わせて展示しました。本資料は宋代中国の画家・陳容の作品とされています。また、本資料は長州藩主の毛利家旧蔵品であったことが確認されています。およそ 2.7m×1.2m の大きな掛軸で、展示室内でもひととき存在感を示していました。

(「博物館に初詣！」担当学芸員 工藤)

■Fb&インスタ！～2月編～

今回の企画展では、沢山の子供たちが観覧に来てくれました。事前に周知をしたおかげか、今まで博物館へ来たことのない施設も多く、初めて博物館を利用する子もいました。

企画展3「博物館に初詣！」は子供でも楽しめるような展示物も多いため、見学に来た子は皆興味深そうに観覧していました。中には集団見学後、家族でもう一度観覧に来られた子もいました。子供たちの素直な反応を見ると、学習の場としての博物館のあり方を考えさせられます。



▲見学風景(あおい杜保育園)

事前に予約すると、スケジュールが合えば学芸員による解説も行います。子供たちにもわかりやすく解説しました。学芸員からの問いかけにも元よく反応する姿が可愛らしく、解説後も学芸員を質問攻めしていました。



▲解説見学風景(ひばり幼稚園)

施設の方からは、子供たちが静かな博物館に来て大丈夫かと心配する声が上がりますが、博物館は市民の学習の場として設置されていますので、小さなお子様連れでも遠慮せずにご来館ください。

(主事 児玉)